



発車オーライ

Q 県税務局OBを配置したが、町税の徴収結果は向上したのか。

A 現在、目標を上回っている。

Q 固定資産税が昨年より二千万円増加になっているが、その理由は何か。

A 地価は下落しているが、マンション建設が増加しており、全体として増を見込んでいる。

予 算審査特別委員会を議長を除く15人で構成し、3月10日から18日まで開きました。初日は工事予定箇所を現地視察し、2日目からは会議室で町長をはじめ関係職員の出席を求め、一般会計と公共下水道事業・国民健康保険・老人保健・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計および水道事業会計を慎重に審査しました。採決の結果、すべての予算を可決しました。

歳入

企画

Q 人口三万人以上の場合と以下の場合は、交付税額に差は出るのか。

A 人口割で算定されるため、かなりの影響が出る。

Q 人口増の施策について、どう考えているのか。

A つくも町の公務員宿舍の建て替えやマンションが建設されているので、それに期待している。

総務

Q 自販機でのたばこ購入にカードが必要となり、たばこ税の減収になるのではないのか。

A 未成年者が買えないようにするもので、さほどの減額は見込んでいない。

建設

Q 物売り払い収入とは何か。

A 放置自転車を、資源物として売り払っているもの。

企画

Q 町内循環バスは、事業としては赤字だが、どう判断するのか。

A 採算ベースには至らないが、公共施設などを利用される方の利便性の向上を図る。

Q 「広報かいた」の配布は、今後どのようにするのか。

A 平成二十一年度から新聞折込みにする。これによ

一般会計
後期高齢者医療特別会計
その他の予算

賛成11..反対3(欠席1)
賛成10..反対4(欠席1)
全会一致

歳出

て約三百五十万円の経費を節約できる。

Q 広報紙の配布は自治会の財源にもなっており、自治会での配布を継続できないか。

A 現在の七百万円の委託料が三百五十万円になっても配布していただけるのであれば検討する。

Q 日系人労働者生活相談員は、どのような業務を行うのか。

A 日系人の方が役場に来庁されても言葉がわからない場合もあり、通訳をしながら各種手続きの相談にのるもの。

Q 電子入札はいつから実施するのか。

A 平成二十年度は資格申請をシス

テム化し、二十一年度から入札を実施する。



埋め立てごみ五日市処分場

Q その処分場は、いつ頃まで埋め立てできるのか。

A 県の試算では、あと一年と聞いている。

総務

Q 埋め立てごみはどこに持っていくのか。

A 五日市の処分場に搬入している。

Q 処分場が満杯になったら、町ではどのように考えているのか。

A 県と協議している。



これを機会に禁煙しては…

Q 野焼きが多いが、その指導はどのようにしているのか。

A 近所から通報があった場合は職員が現地に行き、焼却をしないよう注意し、ごみとして出すようにお願いしている。

Q 振り込め詐欺などの被害が多いが、消費生活相談はどうするのか。

A 毎週木曜日、生活安全課において、資格を持った専門の相談員が対応する。

Q 消費生活相談の町民へのPRは。

A 町広報に掲載していく。

Q 犬の糞尿に対する苦情が多いが、対策は。

A 以前にも広報に掲載しているが、再度広報で呼びかけていく。

建設

Q 県道の維持修繕事業とは。

A 費用が百万円以下の工事を県に代わって実施するもの。

Q 住宅耐震診断は何軒分か。

A 二十軒分を予定している。

Q 「ひろしまの森づくり事業」とは。

A 洞所山へ新峠から遊歩道を作る。

Q 放置森林整備とは。

A 間伐をして森を整備する。

民生

Q 平成二十年度の介護予防の新規事業は。

A 老人集会所でマージャンをできるように、机・いすやパイを購入する。

Q 町立保育所の指定管理者制度の導入予定は。

A しばらくは導入を見合わせる。

Q 子育て支援センターの計画は。

A ひまわりプラザと海田児童館のほかに、平成二十年度から海田東児童館を加えた三カ所で実施する。

Q 平成二十一年度の福祉事務所開設に向けての準備は。

A 平成二十年度、県へ職員三人を派遣して研修させる。



ひまわりプラザ 子育て支援センター

教育

Q 英語指導補助事業の内容は。

A 生の英語に触れるため、小学校での専門の講師による授業。

Q 小学校の少人数指導事業とは。

A 現在の一・二年生に加え、三年生も一クラス三十五人を超えたら教員を一人配置する。

Q 各小学校の校舎は雨漏り寸前であり、建て替えが必要では。

A 老朽化が進んでいるが、改修で対応する。

Q 小中学校安全管理事業が減額になっているが、今後どのようにするのか。

A 地域や教員、町職員で対応していく。

Q 教員へのパソコンの配置は。

A 平成二十年度から、教員一人に一台配置する。

Q 情報のセキュリティは大丈夫か。

A 校外へ持ち出すことを禁止している。

Q 図書館のシステム更新事業の内容は。

A インターネット蔵書の検索や予約が可能となる。

Q 広島市から何人の小学生を受け入れるのか。

A 三十六人を予定している。

水道

Q 水道管の耐震化は。

A 古い管がまだかなりあり、あと二、三年かかる。

Q 余剰金が減少しているが、経営は大丈夫か。

A このままだと平成二十四年度には水道料金の値上げが必要となる。



水道管の移設工事中です